

## 都市づくりフォーラム 第14回

### 都市づくりトピックス

<協働による都市づくり～兵庫県宝塚市の事例>

市民、企業、行政の三者による協働の都市づくりは、全国に多くの事例があります。今後このコーナーで随時ご紹介していきたいと思えます。

宝塚市雲雀丘山手地区は、大正から昭和初期にかけて開発された緑豊かな住宅地です。近年この閑静な住宅地が開発の波にさらされ、地域の素晴らしい自然環境と景観を支えていた屋敷林などが急激に減少しました。これに危機感を抱いた住民は、地区の自然環境と景観は大きな財産であり、それを維持し継承していくことが自分たちの役目だと考えて「わが街の自然、文化、人を守り育む」活動を展開しています。

そのひとつが、まちづくりルールの確立です。本地区では、地域の緑を守ろうという気運の高まりにより、「自然との共生」「安全な街」「景観保全」を目標としたルールを定めました。これをふまえて、マンション建設や宅地造成に対応するために、建物の高さ制限や緑地率の規定を盛り込んだ地区計画を住民が発案しました。行政はルールづくりに協力し、地区計画の都市計画決定の手続きを行いました。

このように、市民と行政が「共に考え、共に悩み、共に行動する」ことが、街の課題を解決し、住み良い街をつくる原動力になっています。

私たちも、「協働」が特別なことでなくなるよう、皆さんとの対話を重ね、相互理解を深めていきたいと考えています。

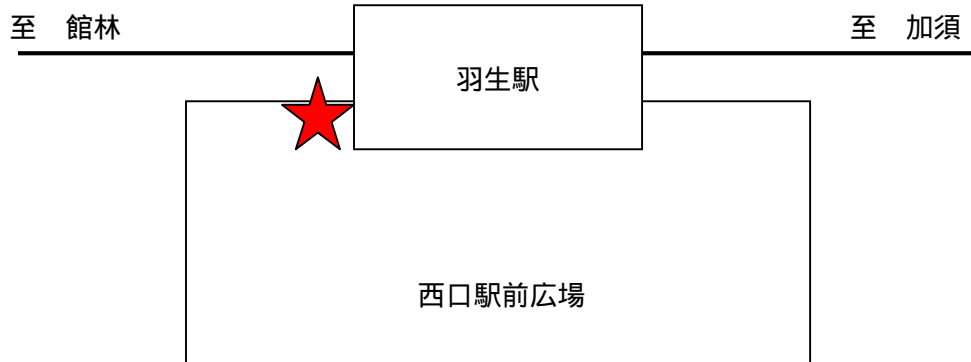
### 羽生のいいところミーツケ

<りくはし記念モニュメント>

新しくなった羽生駅西口にモニュメントがあります。これは、りくはしの由来に感激した彫刻家によって寄贈されたもので、旧西口駅前広場にあったものを移設しました。

りくはしは、線路を横断する人が多くその危険防止と西口の利便性の向上を図るため、金子農機株式会社の初代社長金子専一氏が妻りくさんの遺志を継いで建設したものです。昭和38年5月から昨年まで、安全な歩行者専用跨線橋として多くの市民に利用されてきました。

モニュメントには、夫妻の思いを後世に語り継いでいこうという思いが込められています。



### 市民フォーラム

今年から始まった「協働による地域づくり推進事業」は、47件の申請がありました。草花の植栽や側溝蓋掛が市民の皆さんの手で行われており、協働の輪が少しずつ広がっています。市は今後も皆さんと共に地域づくりを進めていけるよう制度の充実を図りたいと考えています。今年度の受付は終了しましたが、こんなことをしてみたいというご相談や、私たちはこんなことをしていますといった情報提供などお待ちしております。

市民フォーラムへのご意見やいいとこミーケへの情報提供先は  
都市計画課（内線275）  
FAX 561-6380  
e-mail [toshikei@city.hanyu.lg.jp](mailto:toshikei@city.hanyu.lg.jp)